

7月13日 勝負に出たソニーの公募増資は狙えるか？

最近、証券会社の営業マンが次々にソニー公募株の勧誘にきます。  
野村か大和に口座を持っている方、同じ目に遭っていませんか

あまりの多額の公募で、結構販売に苦戦している感じがありますね。あるいは新規顧客の取り込みをこれでやろうとしているのかもしれませんが。

ソニー公募は、7月13日から15日の間に値段が決まり（十中八九13日）、21日から23日で払い込みです。

この調達は、総額で4000億円以上。  
公募株だけで発行済み株数の8%近い大型のファイナンスです。

そして、このファイナンスには、賛否両論が！

いちよし証券のアナリストは、

「これだけ業績をボロボロにしておいて、資金調達と言われても、投資家は納得しないだろう」

と言いますが、ソニーは2月に発表した中期計画で、成長分野である「イメージセンサー」への注力と、TV事業をアンドロイドで立て直す、という2点を打ち出し、それを評価するアナリストも多くいます。

今回、調達資金のかなりの部分を、「イメージセンサー」の生産体制拡充につかいます。この「イメージセンサー」は、スマホカメラ、高画質カメラに使われ、ソニーはその40%ものシェアを持っているリーディング企業です。

しかも、今後、自動車の「自動運転システム」にも使われ、その他産業用にも多大な需要が見込める商材。

ひょっとしたらソニーを救う商品かもしれませんね。

いずれにしても、払い込み終了日の翌日以降、公募株の売却により株価が公募価格近辺まで下がる展開になれば、買いチャンスかもしれません。